



みんなの頑張り（表彰伝達）

10月5日（水）に表彰伝達式を行いました。内部中にはスポーツや文化等で活躍している生徒がたくさんいます。今回は1学期末よりこれまでの間に活躍してくれた分について表彰伝達を行いました。本来であれば、全校生徒が体育館等に一堂に会した場面で、一人ひとりに賞状等を手渡したいところですが、感染症や時間等の諸事情のため、やむなく代表の生徒を視聴覚室に集めて表彰し、その様子をZOOMでの映像を通して各クラスから見守ってもらいました。



一部だけの表彰伝達となりましたが、それでも随分たくさんの生徒が集まりました。ですから実際に賞状等を受け取った生徒は、もっとたくさんいたことでしょう。また、惜しくも入賞等には届かなかっただけでも、ひたむきに頑張っ、自分の持つ力を最大限発揮したり、活躍したりした生徒がたくさんいることでしょう。内部中学校の生徒たちは、勉強はもちろんのこと、スポーツや文化、それ以外のことにも、本当にしっかりと取り組んでいます。校長としてとても誇らしく思います。各教室で仲間を讃える拍手の音が、視聴覚室までしっかりと届いていました。最後に、内部中学校全体の生徒の頑張りを、全員の拍手で讃えて式を閉じました。

中部日本吹奏楽コンクール本大会

10月1日（土）、福井県立音楽堂（ハーモニーホール）においてみだしのコンクールが開催されました。この大会は、東海（愛知、岐阜、三重、静岡、長野）と、北陸（石川、富山、福井、滋賀）の9県の代表が集まり、演奏を競い合う大会ですので、どの学校もレベルの高い演奏を披露して



ました。中央



にパイプオルガンが設置された、とても立派なホールのステージ上で堂々と演奏し、多くの聴衆（他府県の生徒や保護者の皆さん）に立派な演奏を披露し、拍手を受けました。

吹奏楽部の生徒たちは、三重県大会では金賞を受賞し、総合優勝しましたが、今回の大会では銀賞を受賞しました。

避難訓練を終えて

10月11日(火)に避難訓練を実施しました。今回は大地震発生を想定しての訓練でした。内部中学校の生徒が、いつもマナーよく行動できることに感心しています。早く移動すること、早く並ぶこと、きちんと話を聞くこと、どれもしっかりとできています。今回の避難訓練においても、とても早く、整然と避難が完了しました。その際に、以下のような話をしました。



災害は発生しないのならそれが一番です。しかし、残念ながらいつ何時、どのような災害に見舞われるかは、誰にも予測ができません。避難訓練は大変スムーズでしたが、実際の災害は、学校にいる時に発生する訳ではありませんし、夜中に発生する場合があります。そこで大切になってくるのが、『問題解決能力』と『他者を慮る心』です。

『問題解決能力』は、災害の状況に合わせて、「どのように避難したらよいか」「今何をすればよいか、次は何をすればよいか」等を適切に判断し行動することです。そこで大切なのが、みなさんの『知識』と『経験』です。学校の授業で学んだことはもちろんのこと、これまで経験や体験したことのすべてを駆使して、適切な行動がとれるようにすることが求められます。ですから様々な『体験』をすることが重要なのです。

また『他者を慮る心』も重要です。災害の際は、自分の生命や安全を守ることを第一に考えるべきですが、少しでも余裕のある時は、周りの人たちにも心を配り、自分にできることを考えることも大切です。いわゆる『共助』です。災害時に限らず、私たちは日々、様々な人たちと関わりながら生活しています。様々な人たちとつながっています。ですから常に周りの人を慮ることが大切ですが、有事にはそれがより必要となります。みなさんの心の中にある『他者を慮る心』や『勇気』を、しっかりと発揮してくれることを望みます。また、日頃の生活においても同じことを期待します。一人ひとりの心掛けや行動で、社会はきっと良くなるでしょう。

特別支援学級連合運動会

10月5日(水)に、四日市市総合体育館(中央緑地公園内)において、『第35回三四小・中学校特別支援学級連合運動会』が開催されました。本校の生徒たちも参加し、元気よく走ったり、玉入れを楽しんだりしました。普段は学校の中で学習していますが、このように校外に出かけたり、他校の生徒たちの中で一緒に競技に取り組んだりすることは、貴重な「体験」です。昨年度完成した総合体育館は広く、とてもきれいで、生徒たちは気持ちよく取り組めることができました。それだけでなく、会場内で移動する際や、観戦したり応援したりする際のマナーがとてもよく、普段の学校における学習の成果がしっかりと発揮されていました。

